

広報誌 第1号

平成 18 年 9 月発行



院長 脇 慎治

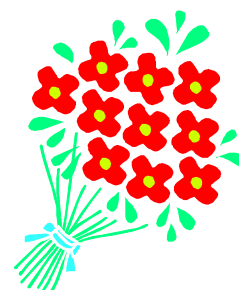
県西部浜松医療センター広報誌「ふれあい」創刊にあたって一言ご挨拶を申し上げます。

この「ふれあい」は患者さんや地域の皆さん、医師会の皆さんに当院のことを広く知っていただくことを目的として発行することになりました。

当院は、昭和48年4月に医師会中央病院を発展させる形で開設されました。診療上の特徴は、オープンシステムを採用していることです。このシステムは、診療所で初期診療を行い、専門的な検査・手術や入院を要する診療については、高度な設備を有する病院が行うものです。病院と診療所が互いの機能を分担・連携し、初診から入院治療、退院後の療養指導まで、一貫した診療方式をとれることが特長です。

この「ふれあい」発行を機に、当院の情報を多くの皆さんへお伝えすることにより、地域に開かれ地域で愛される病院を目指していきたいと考えております。

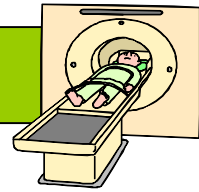
この広報誌をご覧いただき、当院に対するいろいろなご希望やご意見をいただければ幸いです。



基本理念 私たちの目ざすもの

市民に愛され、地域を支える病院
一人ひとりの尊厳を保つ、確かな医療
日々の自己研鑽と、未来への継承

P E T 検 査 1 0 年 の 実 績

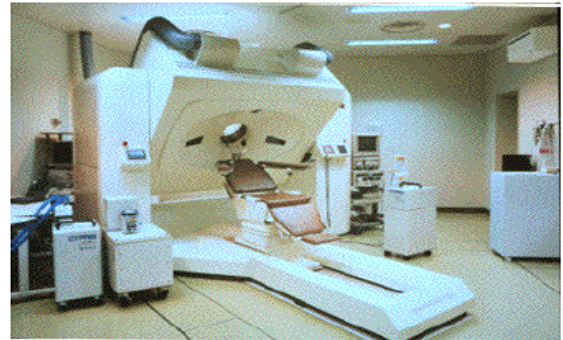


当院の先端医療技術センターは平成8年4月に浜松市が開設したPET診療施設です。PETとは、ポジトロン(陽電子)を放出する薬剤を投与し、病巣を探したり、身体の機能を調べる高度な検査装置です。

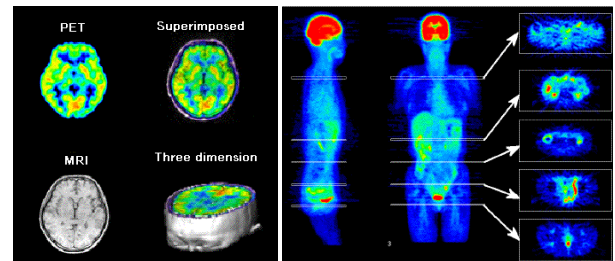
頭部用と全身用の2台のPETがあり、近年この装置を用いて、体内のブドウ糖代謝の様子を画像化し、CTやMRIなどの画像診断では不明確であった病変を明瞭に検出できるようになりました。

PET検査は腫瘍の鑑別診断、ステージ診断や治療効果の判定を主な目的としています。その診断結果によって手術など治療方針が大きく変わることもあり、癌の診療において極めて重要な役割を担っています。

10年間PET検査の実績や経験を通じて、最良の医療情報を市民の皆様にご提供し続けたいと考えています。

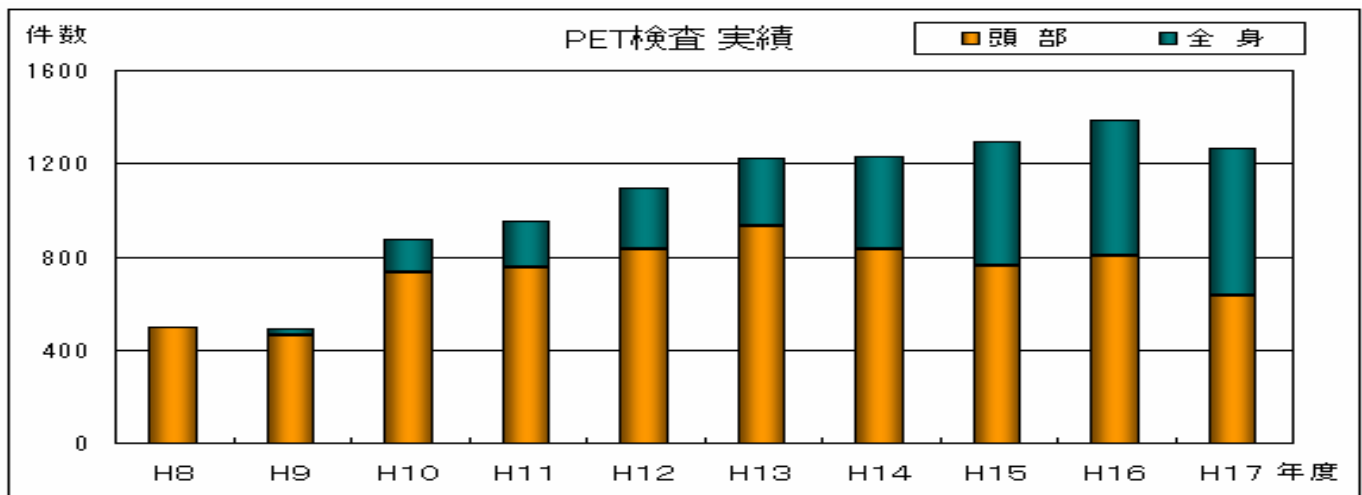


↑ 頭部用PET装置



↑ 頭部撮影結果

↑ 全身撮影結果



3名の認定看護師が誕生しました！

認定看護師とは

日本看護協会が定めた制度で、認定看護師認定審査に合格し、特定の看護分野において、熟練した看護技術と知識を有することを認められた看護師です。



役割は

- 1 熟練した看護技術を用いて高水準の看護を実践します。
- 2 看護実践を通し看護者に対し指導を行います。
- 3 看護者に対しコンサルテーションを行います。

感染管理認定看護師: 松井泰子

当院を利用される患者さん、ご家族、訪問者の皆様、そして職員に感染管理専従看護師として、最善の感染予防を提供したいと考えています。一つひとつ根拠を確認しながら、丁寧に当院の感染管理プログラムを実施します。



新生児集中ケア認定看護師: 平野佐由利

少子化と言われる現代、未来を担う大切な新しい命のために全力をつくします。大事なお子様が身体的、心理社会的障害を残さないよう活動していきます。



ホスピスケア認定看護師: 佐野麻衣子

緩和ケアチームを立ち上げながら人に対する思いやりと優しさ(ホスピスマインド)を基本姿勢に、患者さんがその人らしく過ごせるよう心身の辛さを和らげ、患者さんご家族の生ける力を支援していきたいと思いません。



〒432-8580

浜松市富塚町 328 県西部浜松医療センター

TEL053(453)7111 / FAX 053(452)9217

URL <http://www.hmedc.or.jp>

E-Mail koho@hmedc.or.jp

《編集後記》「ふれあい」では、皆さんに医療センターの近況をお知らせしていきます。是非、ご意見等をお聞かせ下さい。発行: 広報委員会



～ 地震対策工事が始まりました ～

東海地震の危険性が想定されていますが、当センターは災害拠点病院としての使命を持つため、地震対策工事を行うことになりました。

工事期間中は何かとご迷惑をお掛けいたしますが、安全対策には万全の配慮をしますので、よろしく願いいたします。

工事期間 平成18年9月 ～平成21年3月(予定)

